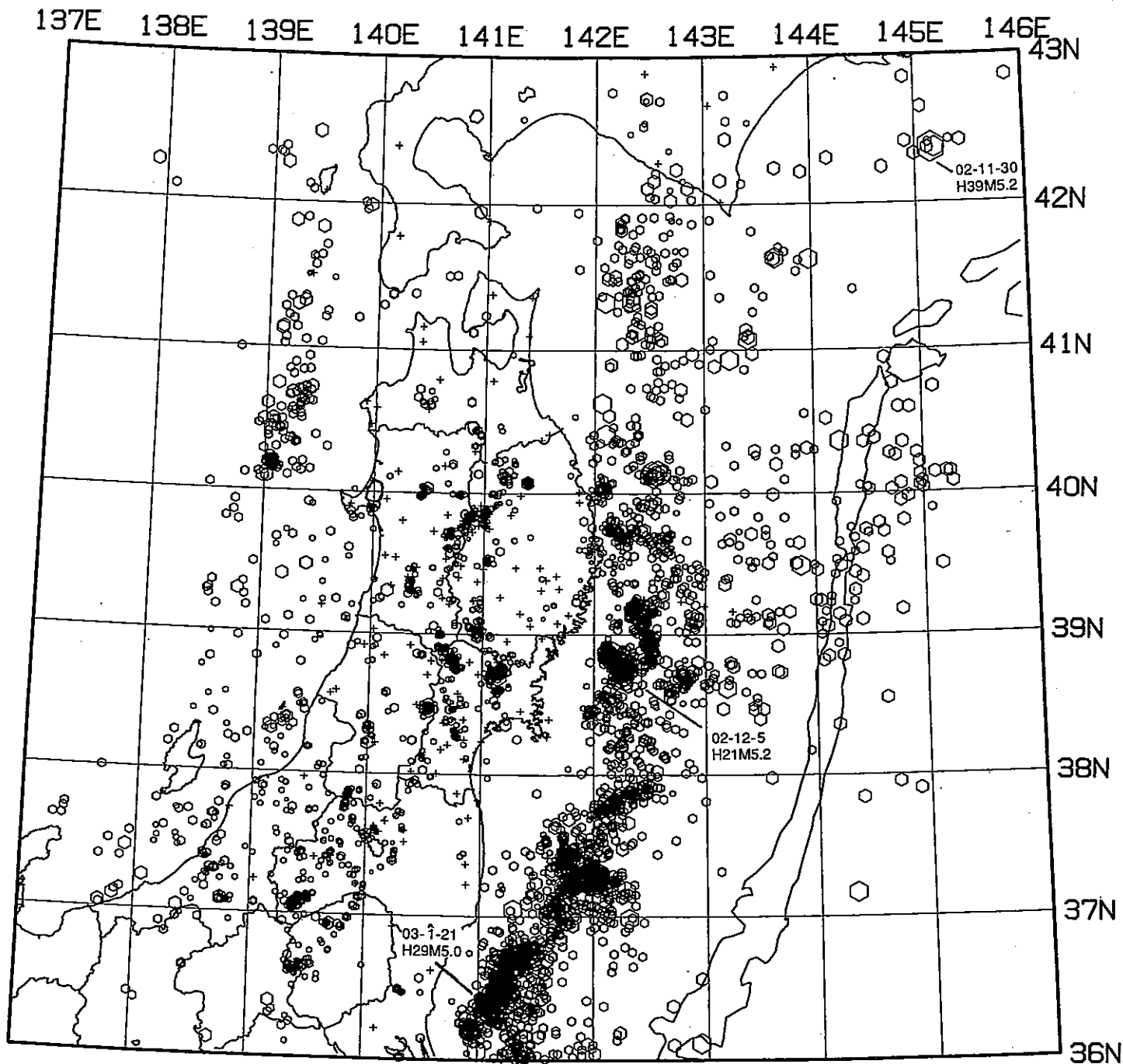


# 第150回

## 地震予知連絡会資料

2003年2月17日

東北大学大学院理学研究科



- 0 - 40km
- 40 - 80km
- △ 80 - 120km
- × 120 - 160km
- \* 160 - 800km

2/11/ 1 - 3/ 1/31  
 h: 0 - 40km N= 4098

- ○ ○ ○ ○
- 1 [Mag] 5

Fig. 1. 東北地方の浅発微小地震の震央分布 (2002年11月~2003年1月).

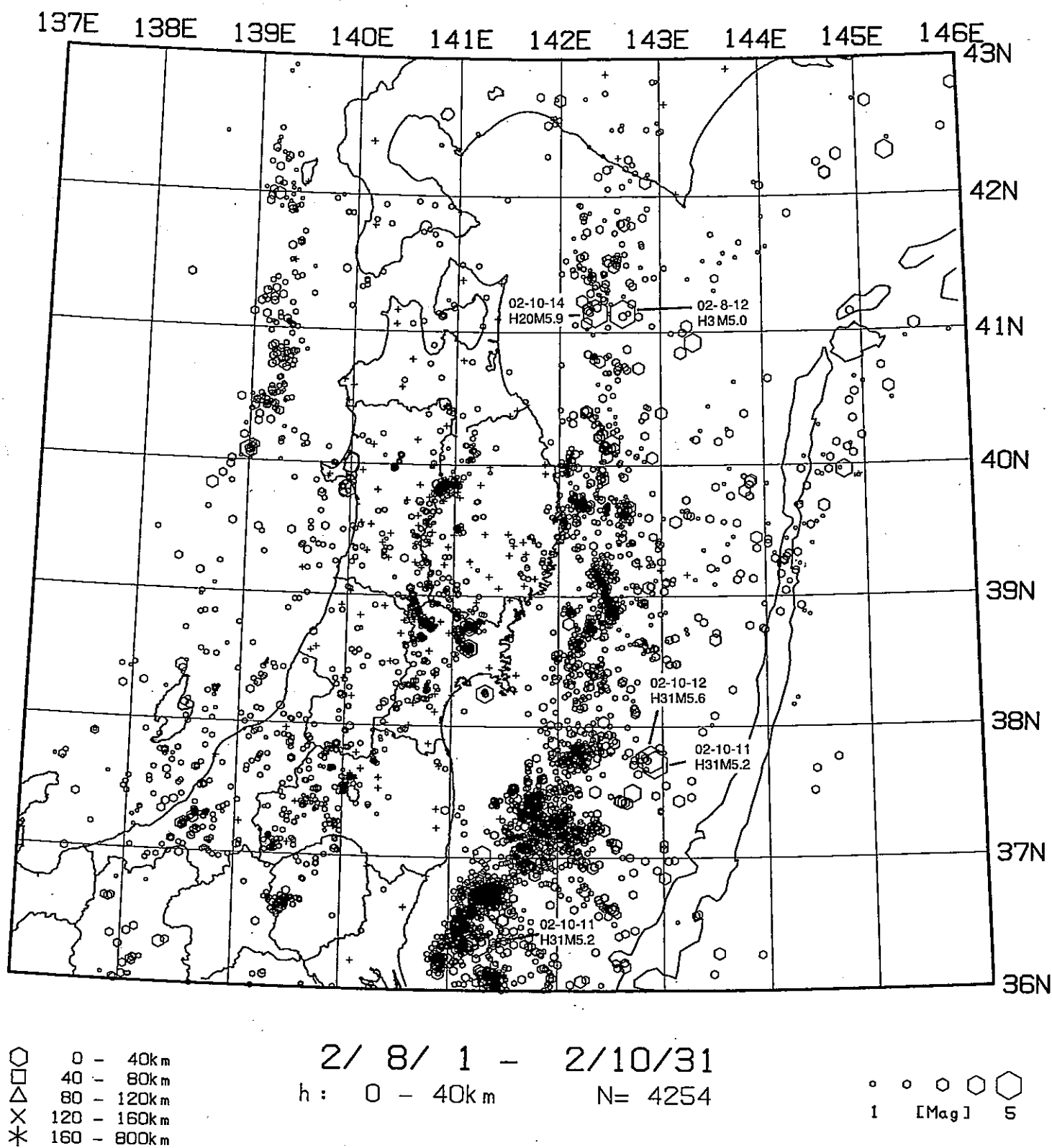
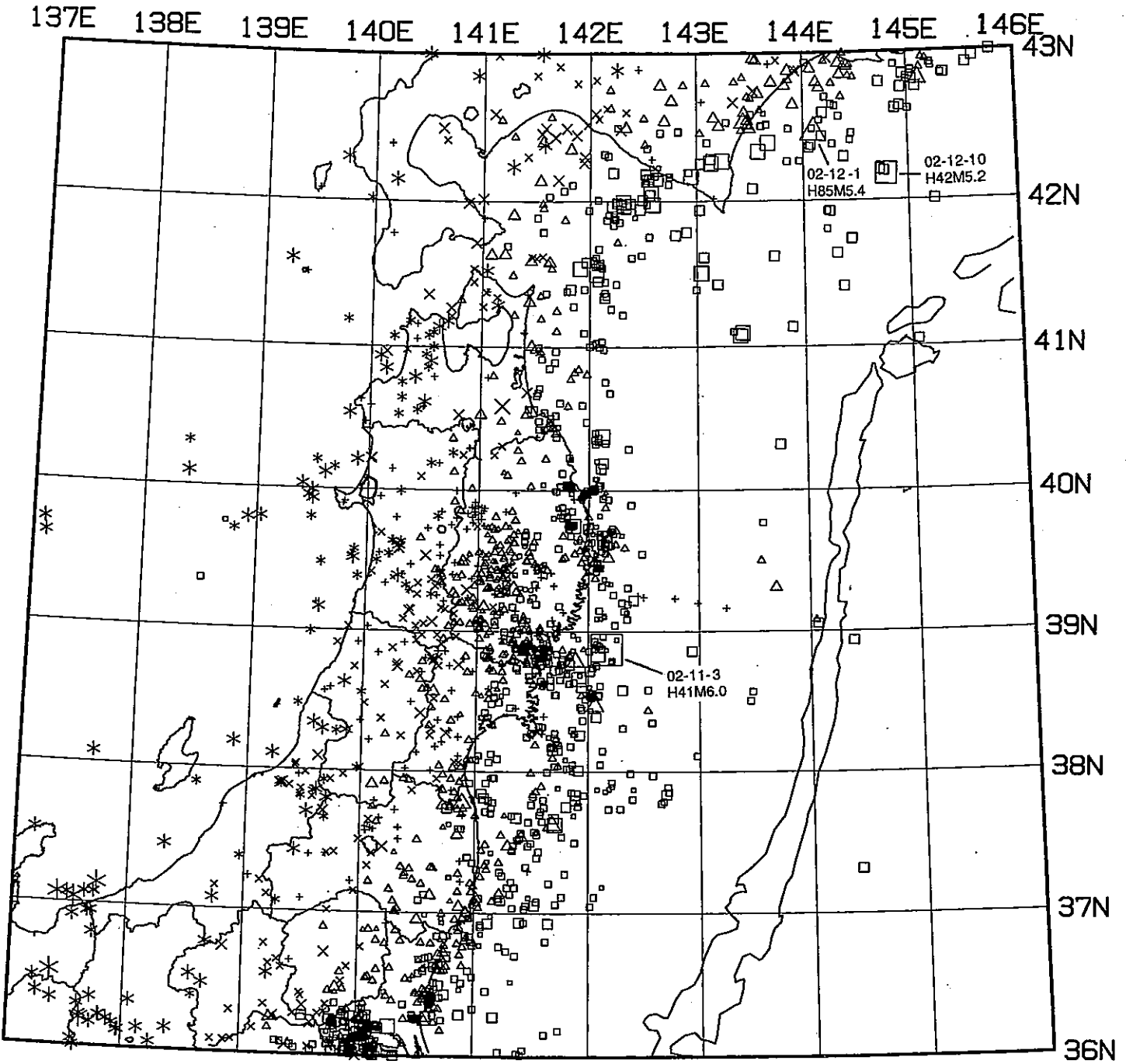


Fig. 2. 東北地方の浅発微小地震の震央分布 (2002年8月~10月) .

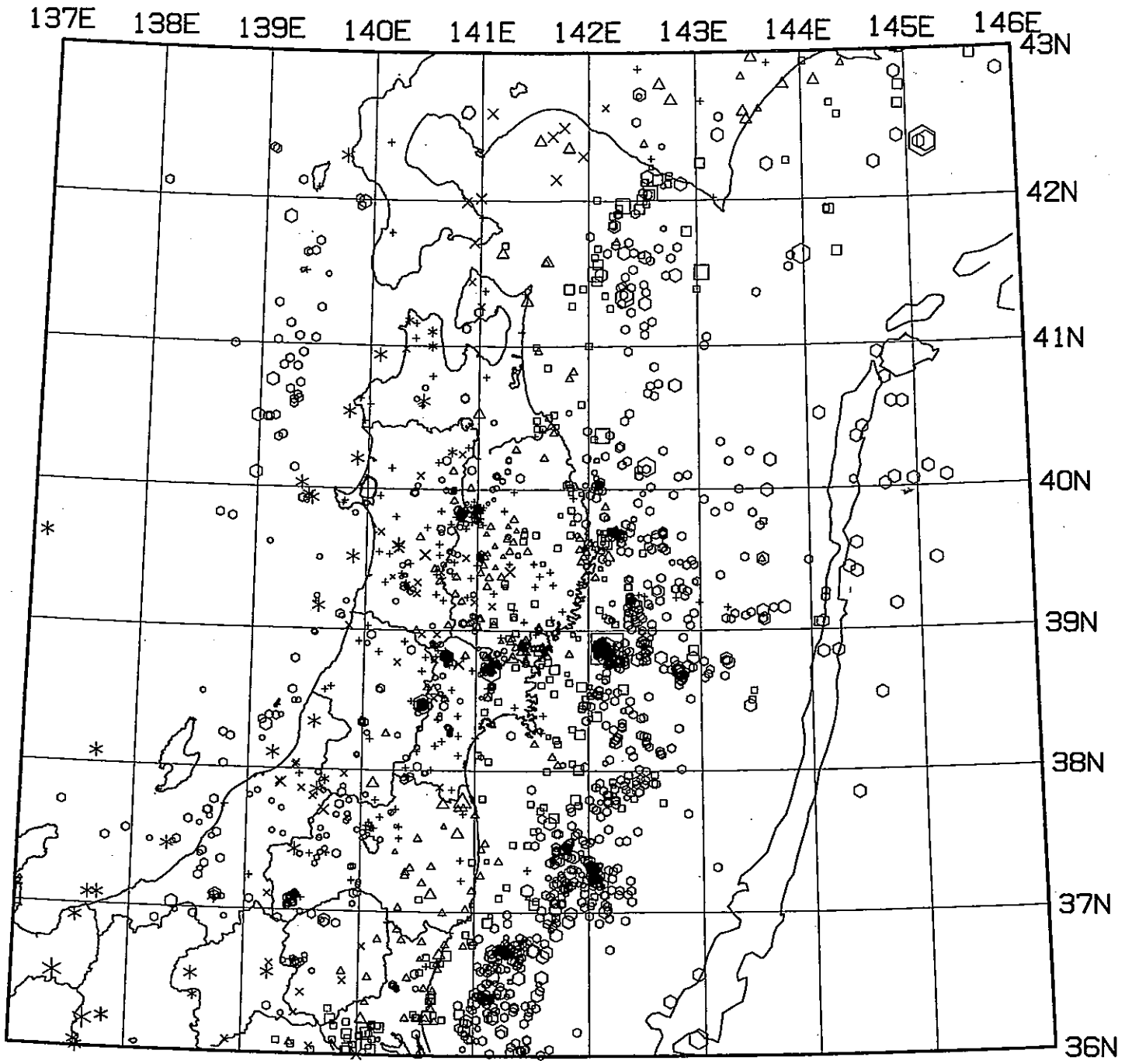


- 0 - 40km
- 40 - 80km
- △ 80 - 120km
- × 120 - 160km
- \* 160 - 800km

2/11/ 1 - 3/ 1/31  
 h: 40 - 800km N= 1630

- ○ ○ ○ ○ ○
- 1 [Mag] 5

Fig. 3. 東北地方の $h \geq 40\text{km}$ の微小地震の震央分布 (2002年11月~2003年1月).



- 0 - 40km
- 40 - 80km
- △ 80 - 120km
- × 120 - 160km
- \* 160 - 800km

2/11/ 1 - 2/11/30  
 h : 0 - 800km      N = 1878

- ○ ○ ○ ○
- 1 [Mag] 5

Fig. 4. 東北地方の微小地震の震央分布 (2002年11月).

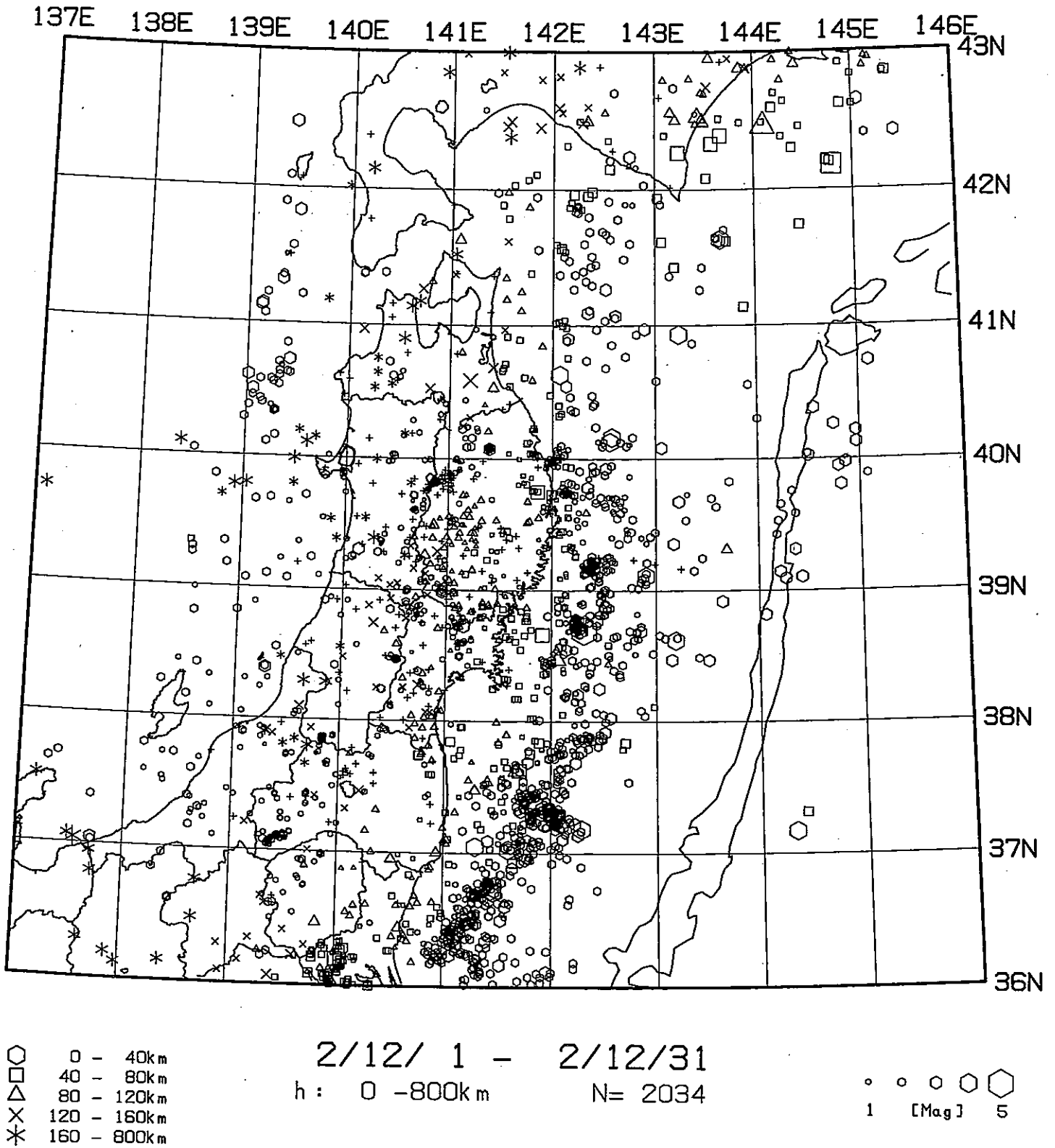
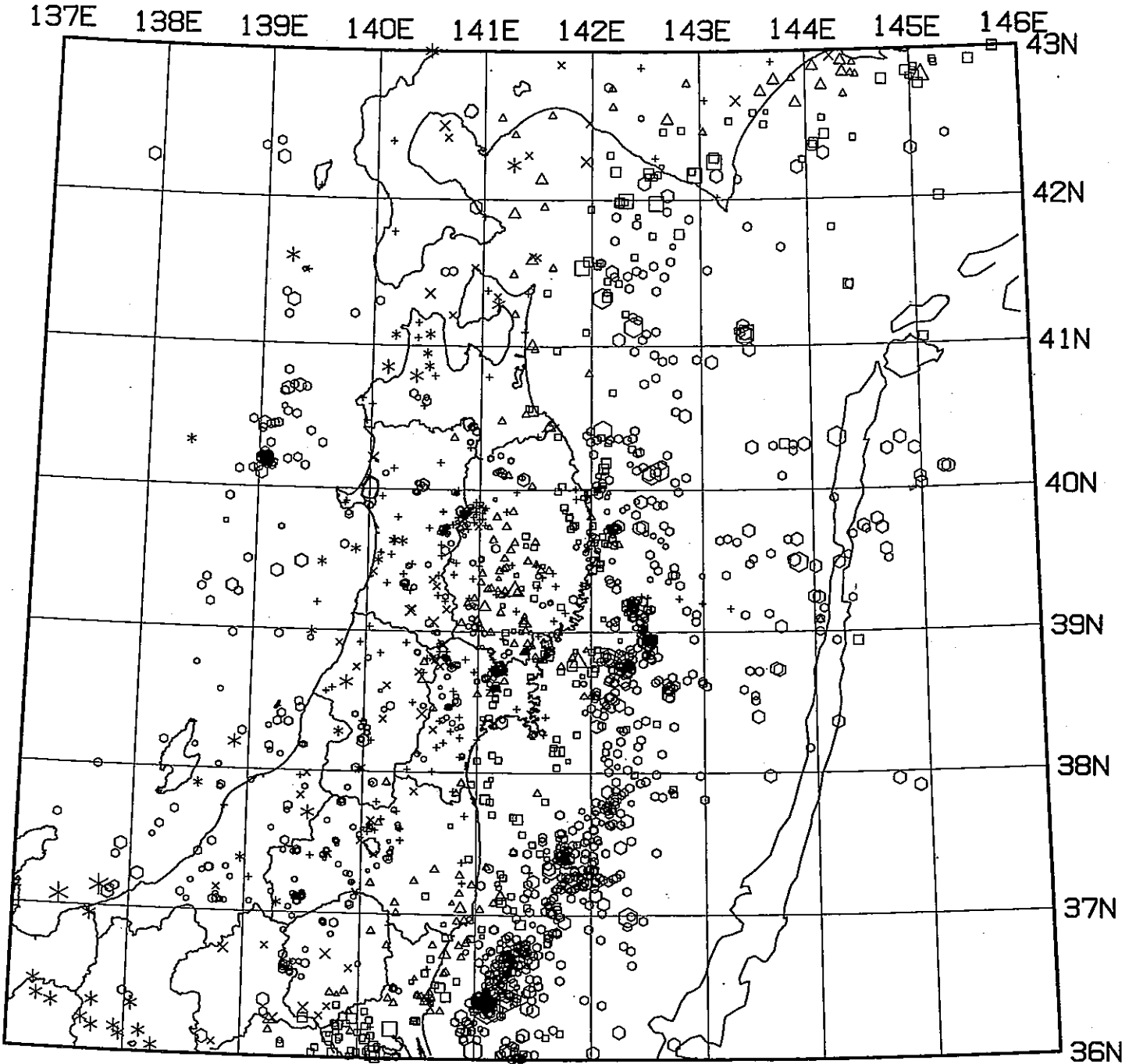


Fig. 5. 東北地方の微小地震の震央分布 (2002年12月).



- 0 - 40km
- 40 - 80km
- △ 80 - 120km
- × 120 - 160km
- \* 160 - 800km

3 / 1 / 1 - 3 / 1 / 31  
 h : 0 - 800km      N = 1816

○ ○ ○ ○ ○  
 1 [Mag] 5

Fig. 6. 東北地方の微小地震の震央分布 (2003年1月) .

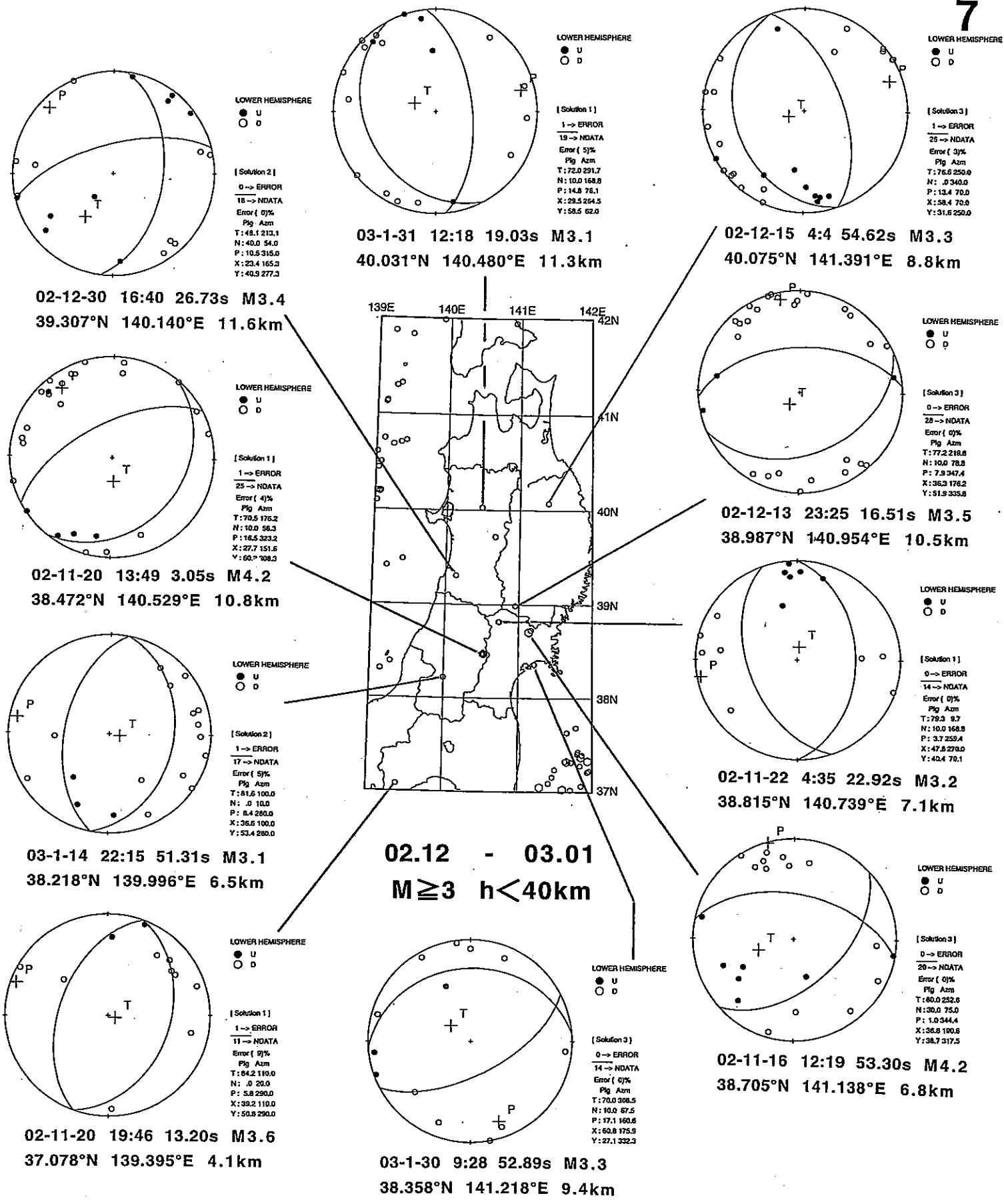


Fig.7. ルーチン処理データによる2002年11月～2003年1月に東北地方の内陸およびその周辺で発生したM≥3の浅発地震の震央分布とメカニズム解（下半球等積投影）．●が押し，○が引きを表す．